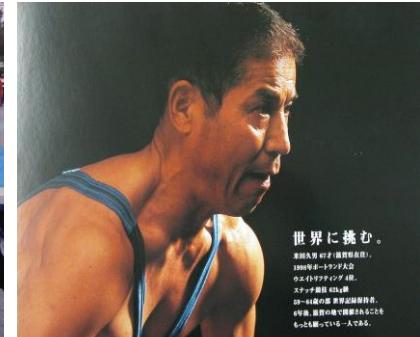


## 「ワールドマスターズゲームズ」とは

## 別紙2

国際マスターズゲームズ協会(IMGA)が4年ごとに主催し、30才以上の成人・中高年の一般アスリートを対象とした生涯スポーツの国際総合競技大会です。

- 予選はなく登録すれば大会出場可能。競技資格や選抜基準はなく、唯一の参加基準は年齢のみで上限はなし。
- 約30競技から成るプログラムに複数エントリーすることが可能。
- 男女・年代別(通常5才ごと)に種目が行われ、各年代別にメダルが授与される。
- 元プロや元オリンピック選手も出場し、キャリアを超えて一般アスリートと競技を行う。
- チームスポーツやペアスポーツは多国籍チームでの出場も可能。
- 平均9日間の大会期間と前後の観光滞在のため、生涯スポーツ大会では最長の滞在期間。



世界に挑む。  
木村久男 67才(葛西町在住)。  
1958年ボートランド大会  
エイトリザーブド4枚。  
スヌッチャ競走 43kg級  
50~64歳の部 世界記録保持者。  
6年後、葛西の地で開催されること  
もっとも願っている一人である。

# ワールドマスターズゲームズとオリンピックとの違い

大会誘致に向けて

	ワールドマスターズゲームズ	オリンピック																				
<b>概要</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●原則4年ごとに開催されるマスターズ世代を対象とした世界規模の国際総合スポーツ競技大会。</li> <li>●2010年から冬季大会も開催されている。</li> <li>●国や地域を背おわす、誰でも参加できる。</li> <li>●ツーリズム・イベントとして認知されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●4年ごとに開催される世界のアマチュアのトップクラスを対象とした国際総合スポーツ競技大会。</li> <li>●各国・各地域から代表を選抜して参加する。</li> </ul>																				
<b>統括組織</b>	世界:IMGA ヨーロッパ:EMGA、アジア、日本を統括する組織は現在はない。	世界:IOC 日本:JOC																				
<b>実施組織</b>	各都市が設立した実行委員会	各都市が設立した実行委員会																				
<b>近年の実施(予定) 都市</b>	<table border="1"> <tr> <td>[夏季] 2002:メルボルン</td><td>[冬季] 2010:ブレッド</td></tr> <tr> <td>2005:エドモントン</td><td>2015:セストリエーレ</td></tr> <tr> <td>2009:シドニー</td><td></td></tr> <tr> <td>2013:トリノ</td><td></td></tr> <tr> <td>2017:オークランド</td><td></td></tr> </table>	[夏季] 2002:メルボルン	[冬季] 2010:ブレッド	2005:エドモントン	2015:セストリエーレ	2009:シドニー		2013:トリノ		2017:オークランド		<table border="1"> <tr> <td>[夏季] 2000:シドニー</td><td>[夏季] 1998:長野</td></tr> <tr> <td>2004:アテネ</td><td>2002:ソルトレイク</td></tr> <tr> <td>2008:北京</td><td>2006:トリノ</td></tr> <tr> <td>2012:ロンドン</td><td>2010:バンクーバ</td></tr> <tr> <td>2016:リオデジャネイロ</td><td>2014:ソチ</td></tr> </table>	[夏季] 2000:シドニー	[夏季] 1998:長野	2004:アテネ	2002:ソルトレイク	2008:北京	2006:トリノ	2012:ロンドン	2010:バンクーバ	2016:リオデジャネイロ	2014:ソチ
[夏季] 2002:メルボルン	[冬季] 2010:ブレッド																					
2005:エドモントン	2015:セストリエーレ																					
2009:シドニー																						
2013:トリノ																						
2017:オークランド																						
[夏季] 2000:シドニー	[夏季] 1998:長野																					
2004:アテネ	2002:ソルトレイク																					
2008:北京	2006:トリノ																					
2012:ロンドン	2010:バンクーバ																					
2016:リオデジャネイロ	2014:ソチ																					
<b>選手の参加条件</b>	無条件、参加料を払った人全員	各国オリンピック委員会(NOC)が選抜																				
<b>大会規模</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●選手参加者数:95か国、約28,000人 (シドニー大会時)</li> <li>●総事業費:20億円(2009年滋賀大会招致時の予算)~24億円(シドニー大会)</li> <li>●会場は既存施設を活用し、新たな施設を作る必要がない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●選手参加者数:204か国、約11,000人。 (北京大会時)</li> <li>●総事業費:約3000億円(2016年東京大会招致時の委員会予算)</li> <li>●その他施設整備費は約3000億円強</li> </ul>																				
<b>招致費用(参考)</b>	数千万円(2009年滋賀大会招致のための委員会の費用)	約150億円(2016年東京大会招致のための委員会費用。うち東京都負担分約55億円)																				

## ワールドマスターズゲームズ主催団体(**IMGA:International Masters Games Association**)」

### <IMGA会長>

Kai Holm

元IOC(国際オリンピック委員会)メンバー、  
元NOC(国内オリンピック委員会)デンマーク会長

### <IMGA理事>

Tamas Ajan

IOCメンバー、国際ウェイトリフティング連盟(IWF)会長

Denis Oswald

IOCメンバー、国際ボート連盟(FISA)会長

Gian-Franco Kasper

IOCメンバー、国際スキー連盟(FIS)会長

Gianni Gola

国際ミリタリースポーツ評議会(CISM)元会長

Bob Elphinston

国際バスケットボール連盟元会長

Phil Craven

IOCメンバー、国際パラリンピック委員会(IPC)会長

Anders Besseberg

国際バイアスロン連合(IBU)会長

Don Porter

国際ソフトボール連盟(ISF)会長

Marisol Casado

IOCメンバー、国際トライアスロン連合(ITU)会長

Pat.McQuaid

IOCメンバー、国際自転車競技連合(UCI)会長

Jose Perurena

IOCメンバー、国際カヌー連盟(ICF)会長

Richard L. Carrion

IOC理事、IOC財政監査委員会議長

John D. Coates

IOC理事、NOCオーストラリア会長、スポーツ仲裁裁判所(CAS)所長

Carlos A. Nuzman

IOCメンバー、NOCブラジル及びNOCリオ会長

## ワールドマスターズゲームズの開催地と大会規模

大会誘致に向けて

開催年	開催国	開催都市	開催立候補地	参加者数	参加国数
1985年	第1回 カナダ	トロント		8300	61
1989年	第2回 デンマーク	ヘアニング、オールボーオーフス(3都市開催)		5500	76
1994年	第3回 オーストラリア	ブリスベン・クイーンズランド州	ミネアポリス	25000	71
1998年	第4回 アメリカ	ポートランド・オレゴン州	ダーバン	25000	100
2002年	第5回 オーストラリア	メルボルン・NSW州	ブダペスト、サクラメント	26000	97
2005年	第6回 カナダ	エドモントン	セビリア、ローマ、オタワ	22000	88
2009年	第7回 オーストラリア	シドニー・NSW州	滋賀、ミュンヘン、モントリオール、コペンハーゲン	32000	95
2013年	第8回 イタリア	トリノ	コペンハーゲン、ストックホルム、アムステルダム、デトロイト	50000 (目標値)	100 (目標値)
2017年	第9回 ニュージーランド	オークランド	バンクーバー、オタワ、ゴールドコースト		
2021年	第10回	2016年IMGA総会にて決定			